

専任教員の教育・研究業績

所属	教育学部	職名	教授	氏名	岡崎 均	大学院における研究指導担当資格の有無	無
Ⅰ 教育活動							
教育実践上の主な業績				年月日（期間）	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）							
社会科概論Ⅰ・社会科概論Ⅱ				平成27年9月～現在に至る	タブレットP Cを積極的に活用し、写真や統計資料、地図アプリ等を用いて、ICTを活用した新しい社会科の学習指導のモデルを示範し、深い学びとしての社会科授業の在り方について考えさせている。		
教科教育法（社会）				平成28年4月～現在に至る	模擬授業でのプレゼンテーションやディベートでの立論資料作成等に一人若しくはグループで1台のタブレットPCを活用し、学生一人一人のこれからの教師としてのスキルを高めている。		
2 作成した教科書、教材、参考書							
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
教育学部F D講習会				令和1年5月15日	教育学部のF D講習の講師として、本学教員を対象にタブレットP Cの講義への有効活用を、実践事例を交えながら講義した。特に、タブレットP Cの講義への機動的活用方法として、ネットワーク共有型のアプリを活用したグループワークの有効性について講義した。		
4 その他教育活動上特記すべき事項							
					タブレット（1人1台）や電子黒板等のICTを積極的に活用し、社会科を中心とした教科の授業開発と研究を行っている。		
教員免許更新講習				2019年11月3日	選択必修の講習として「教育の情報化とタブレットPCを活用した授業設計」をテーマに、教育の情報化とICT活用の動向及び有効性についての理解を目標として講習を行った。情報教育の歴史と特徴的な実践を踏まえ、学校教育におけるICT活用の動向とその有効性を講義し、グループワークを中心にタブレットPCを活用した授業開発、教材開発を通して、学習指導での効果的な活用の在り方について考えることができた。		
Ⅱ 研究活動							
著書（単著）							
書名		著者		総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書（共著・分担執筆）							
題目／書名		著者／編者		初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
スマートボード、電子教科書を活用した授業づくり／新社会科授業づくりハンドブック		岡崎 均 ／全国社会科教育学会		181頁～182頁	明治図書		平成27年10月
愛媛県南予地方の学校における文楽の教育活動と教育的意義／文化を基軸とした社会系教育の構築		岡崎 均 ／中村 哲		233頁～248頁	風間書房		平成29年 3 月
社会科教科書のデジタル化と授業デザイン／社会系教科教育研究のブレイクスルー		岡崎 均 ／社会系教科教育学会 編		148頁～158頁	風間書房		令和 1 年11月
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）							
題名		著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
小学校社会科教科書の構成の解明と課題－メディア分析による構成分析とデジタル化への展望－		岡崎 均		社会系教科教育学研究	第25号	61頁～70頁	平成25年12月
小学校社会科デジタル副読本の設計と開発に関する研究－愛媛県南予地方の水産業教材の事例開発を手がかりに－		岡崎 均		社会系教科教育学研究	第30号	77頁～86頁	平成30年12月
社会科デジタル教科書設計論－教科書の構造分析とマルチメディア教材設計論に基づく小学校第5学年の事例開発を手がかりに－		岡崎 均		日本教科教育学会誌	第41巻第4号	1 頁～13頁	平成31年3月
総説							
題名		著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
愛媛県南予地方の和文化教育－文楽と学校教育の関わりを事例として－		岡崎 均		大阪体育大学教育学研究	第 1 巻	19頁～34頁	平成29年 3 月
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）							
区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
その他	ICT活用能力があるのは～AとBのどっち？クイズ	単	岡崎 均	社会科教育No. 652（明治図書）		28頁～29頁	平成25年 8 月
その他	土農工商で“たほいや型”歴史ゲーム	単	岡崎 均	社会科教育No. 654（明治図書）		79頁	平成25年10月
その他	授業を何倍も楽しくする単元構成の工夫 年表の出番を増やす単元構成の工夫	単	岡崎 均	社会科教育No. 657（明治図書）		28頁～29頁	平成26年1月
その他	新指導要領における公民教育授業デザインのポイント	単	岡崎 均	社会科教育No. 681（明治図書）		42頁～43頁	平成28年1月

その他	主体的・対話的で深い学びを実現する学習プロセス」におけるICTの効果的活用	単	岡崎 均	社会科教育No. 693（明治図書）		36頁～41頁	平成29年1月
その他	日本の工業・情報産業をどう教えるか-社会的な見方・考え方を鍛える切り口-	単	岡崎 均	社会科教育No. 711（明治図書）		18頁～19頁	平成30年 7 月
その他	タブレットPCの機動的活用とアプリ活用で楽しく深い学びへ	単	岡崎 均	社会科教育No. 719（明治図書）		16頁～19頁	平成31年 3 月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）							
区分	年月	学会名		演題名	場所	発表者名	
国内(課題研究)	平成25年11月	全国社会科教育学会		社会科教科書の構成分析に基づくデジタル教科書の設計理論とモデル開発	山口県山口市山口大学	岡崎 均	
国内(一般演題)	平成26年11月	全国社会科教育学会		社会科の構成分析に基づくデジタル教科書の設計と開発2	愛媛県松山市愛媛大学	岡崎 均	
国内(一般演題)	平成27年8月	日本デジタル教科書学会		社会科デジタル教科書の設計理論と開発	北海道札幌市	岡崎 均	
国内(一般演題)	平成27年10月	和文化教育学会		愛媛県南予地方の和文化教育	秋田県由利本荘市	岡崎 均	
国内(課題研究)	平成28年8月	日本デジタル教科書学会		教科書の構成分析に基づく小学校社会科デジタル教科書の設計理論	京都府京都市京都産業大学	岡崎 均	
国内(一般演題)	平成29年9月	日本教科教育学会		社会科デジタル教科書設計論	北海道札幌市北海道教育大学	岡崎 均	
国内(一般演題)	令和1年 8 月	日本デジタル教科書学会		社会科教科書のデジタル化と授業デザイン	新潟県新潟市新潟日報メディアシップ	岡崎 均	
国内(一般演題)	令和1年10月	和文化教育学会		地域に伝承する人形浄瑠璃と学校教育	徳島県鳴門市鳴門教育大学	岡崎 均	
科学研究費等の取得状況							
科学研究費／その他の助成金／外部資金							
区分	種類		題目		代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
特許							
特許名称		発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間		内 容
加入学会		
平成4年6月～	社会系教科教育学会員（現在に至る）	
平成4年7月～	全国社会科教育学会員（現在に至る）	
平成24年4月～	社会系教科教育学会理事（現在に至る）	
平成25年4月～平成29年3月	和文化教育学会会員 理事	
平成26年1月～	日本デジタル教科書学会（現在に至る）	
平成28年4月～	社会系教科教育学会編集委員（現在に至る）	
平成29年4月～	日本教科教育学会員（現在に至る）	
平成29年4月～	和文化教育学会幹事（現在に至る）	
社会的活動		
平成28年8月	愛媛県教育研究協議会情報教育研究会夏期研修会講演	
平成28年8月	愛媛県西予市教育会夏期研修会講演	
平成29年6月1日～8月31日	大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員	
平成29年8月	愛媛県西予市教育研究協議会情報教育委員会講演	
平成29年10月	第58回愛媛県視聴覚教育研究大会講演	
平成30年8月	大阪府小学校社会科教育研究大会実行全体会議講演	
平成30年6月～平成30年8月	大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員	
平成31年2月	南河内地区小学校教育研究会社会科部会学習会講演	
令和1年6月～令和1年8月	大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員	
令和1年8月	大阪府小学校社会科教育研究会泉南大会学習会講演	
令和1年11月	第57回大阪府小学校社会科教育研究会泉南大会講演	

IV 管理活動					
期 間		内 容			
委員会活動					
平成27年 4 月～		全学学生委員会委員 平成29年4月より委員長（平成31年3月まで） 令和1年4月より副委員長			
平成27年 4 月～平成31年 3 月		情報処理センター委員会委員			
平成29年 4 月～平成31年 3 月		研究倫理教育推進部会委員			
平成30年 4 月～		障がい学生支援委員会 委員長（現在に至る）			
平成30年 4 月～		教学部副部长（現在に至る）			
令和 1 年 4 月～		教育学部教務委員会 委員長			
特別プロジェクト活動					
平成29年 4 月～平成31年 3 月		学生募集戦略会議委員			
平成30年 4 月～平成31年 3 月		新推薦入試体力テスト検討部会委員			
令和 1 年 7 月～令和 1 年 8 月		105分授業検討委員会			
V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名		部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度		① ほぼ毎日 ② 週 3 日 ③ 週 1 日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導		年間合宿回数：	回	延べ日数：	日
6. クラブの競技力向上への取り組み		①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み		①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み		①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名		大 会 名		期 間	場 所
1 0. クラブ戦績 （全日本選手権 8 位以上、関西選手権 4 位以上、関西 1 部リーグ 3 位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）					
開 催 期 間		大 会 名		成 績	場 所
VI 賞罰（職務に関する賞罰）					
年 月	受賞等機関名		内 容		備 考